

「特定秘密保護法案」の可決成立に断固抗議する

一般社団法人 日本雑誌協会 人権・言論特別委員会
一般社団法人 日本書籍出版協会 出版の自由と責任に関する委員会

本日（12月6日）、「特定秘密保護法案」が、参議院本会議において可決成立した。日本の根幹を揺るがしかねない極めて危険な法案であり、各界から続々と強い反対の声があがったにもかかわらず、十分な審議が尽くされないまま強行採決されたことは、民主主義国家として到底容認できない暴挙である。

雑誌や書籍は、政府が秘密とする情報でも、当然国民が知っておくべき情報については、すみやかに読者に伝える社会的責務を負っている。この法律の存在が取材・記事作成に重大な障害となることを深く憂慮し、「国民の知る権利」「報道・出版の自由」を根底から覆しかねない法案の可決成立に断固抗議する。

我々は、政府が多くの国民の不安を真摯に受けとめることを強く求め、この法律が濫用され、国民の知るべき情報が隠匿されないよう、今後も政府の動向を注視していく。

以上

2013年12月6日